

Reference D5

Japanese Patent Kokai No. 2000-166644

Laid-opening date: 20 June 2000

Application No.: 11-340540

Filing date: 30 November 1999

Applicant: L'OREAL

Title: Applicator for applying a product to the skin
and assembly equipped with the applicator

Priority: 3 December 1998; FR 9815291

[Reference D5 corresponds to U.S. Patent No. 6280112.]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-166644

(P2000-166644A)

(43) 公開日 平成12年6月20日 (2000. 6. 20)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 5 D 34/04

// B 0 5 C 17/00

識別記号

5 3 5

F I

A 4 5 D 34/04

B 0 5 C 17/00

テマコード (参考)

5 3 5 Z

審査請求 有 請求項の数25 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号

特願平11-340540

(22) 出願日

平成11年11月30日 (1999. 11. 30)

(31) 優先権主張番号

9 8 1 5 2 9 1

(32) 優先日

平成10年12月3日 (1998. 12. 3)

(33) 優先権主張国

フランス (F R)

(71) 出願人

391023932

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14

(72) 発明者

ヴァレリー・ヴィウ

フランス・75016・パリ・リュ・ダヴィ

ウ・29

(74) 代理人

100064908

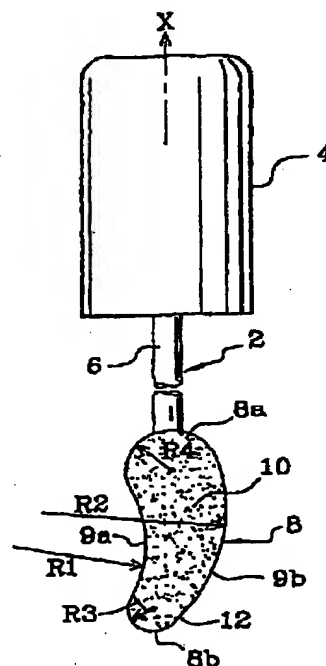
弁理士 志賀 正武 (外8名)

(54) 【発明の名称】 皮膚に対して製品を塗布するためのアプリケータならびにそのようなアプリケータを備えたアセンブリ

(57) 【要約】

【課題】 目の周辺領域や口のコーナー部などに好適に使用できるようなアプリケータを提供すること。

【解決手段】 皮膚に対して製品を塗布するためのアプリケータ2であって、把持部材4と、この把持部材4に対して一体に連結された塗布部材8と、を具備してなり、塗布部材8は、フレキシブルであるとともに、実質的に平面状の第1面10を備え、この第1面10の、把持部材4の軸Xに対して垂直な方向における幅は、把持部材4とは反対側に位置した自由端8bへと向かうにつれて狭くなるものとされ、第1面10は、2つの側方エッジ9a、9bによって規定され、一方の側方エッジ9aは、凹状の形態とされている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 皮膚に対して製品 (P) を塗布するためのアプリケーション (2) であって、

把持部材 (4) と、この把持部材 (4) に対して一体に連結された塗布部材 (8) と、を具備してなり、

前記塗布部材は、フレキシブルであるとともに、実質的に平面状の第 1 面 (10) を備え、

この第 1 面 (10) の、前記把持部材 (4) の軸 (X) に対して垂直な方向における幅は、前記把持部材とは反対側に位置した自由端 (8b) へと向かうにつれて狭くなるものとされ、

前記第 1 面は、2つの側方エッジ (9a、9b) によって規定され、

これら 2つの側方エッジ (9a、9b) の少なくとも 1つは、凹状の形態とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 2】 請求項 1 記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材 (8) が、前記第 1 面 (10) とは反対側に第 2 面 (12) を備え、この第 2 面は、実質的に平面状であることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載のアプリケーション (2) において、

前記側方エッジの一方 (9a) が、凹状の形態であり、前記側方エッジの他方 (9b) が、凸状の形態であることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 4】 請求項 1～3 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記両側方エッジが、異なる曲率半径 (R_1 、 R_2) とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 5】 請求項 1 または 2 記載のアプリケーション (2) において、

前記両側方エッジが、凹状の形態であることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 6】 請求項 3～5 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記凹状側方エッジ (9a) が、16mm～30mm の曲率半径 (R_1) とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 7】 請求項 1～6 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材の少なくとも 1つの自由端 (8b) が、丸まられた形態とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 8】 請求項 1～7 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材の前記自由端 (8b) が、1mm～3mm の曲率半径 (R_1) とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 9】 請求項 1～8 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

ケータ (2) において、

前記塗布部材 (8) が、天然ゴムまたは合成ゴムから、あるいは、とりわけポリウレタンのような発泡体から、あるいは、熱可塑性エラストマーから、形成されていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 10】 請求項 1～9 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材 (8) が、前記把持部材 (4) の前記軸 (X) に沿って測ったときに、約 20mm の長さ (L) とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 11】 請求項 1～10 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材 (8) が、前記把持部材 (4) の前記軸 (X) に対して垂直な方向に測ったときに、約 7mm の平均幅 (1) とされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 12】 請求項 1～11 のいずれかに記載のアプリケーション (2) において、

前記塗布部材 (8) が、1～3mm の範囲の平均厚さとされていることを特徴とするアプリケーション。

【請求項 13】 製品 (P) を収容することを意図した貯蔵器 (20) を具備する塗布アセンブリ (1) であって、

前記貯蔵器 (20) の自由エッジ (22) が、開口 (24) を規定し、この開口 (24) に対して、塗布部材 (8) が一体的に連結されている閉塞部材 (4) が着脱可能に固定される場合において、

前記塗布部材が、請求項 1～12 のいずれかに記載されたアプリケーションにおける塗布部材であることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 14】 請求項 13 記載の塗布アセンブリ (1) において、

乾燥部材 (26、26a、26b、26c) が、前記開口 (24) の近傍に設置され、該乾燥部材は、前記塗布部材 (8) によって採取される製品 (P) の量を計量することができるものであることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 15】 請求項 14 記載の塗布アセンブリ (1) において、

前記乾燥部材 (26、26a、26b、26c) は、弾性材料から形成されているとともに、前記乾燥部材を厚さ方向に貫通して形成された少なくとも 1つのスリット (28、28a～28d) を有していることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 16】 請求項 15 記載の塗布アセンブリ (1) において、

前記乾燥部材 (26b) は、前記乾燥部材の中心 (C) 付近において互いに交差する複数のスリット (28a～28d) を有していることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 17】 請求項 16 記載の塗布アセンブリ

(1) において、

前記各スリット (28, 28a~28d) は、直線状に延在しており、

前記スリットの各端部 (29) からは、そのスリットの延在方向とは異なる方向を向いて形成された少なくとも 1 つの部分 (30a, 30b) が延出されていることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 18】 請求項 16 または 17 記載の塗布アセンブリ (1) において、

前記各端部 (29) には、それぞれ対応するスリットの延在方向を中心軸としかつ頂点をそれぞれ対応するスリットに位置させた V 字形部分が形成されていることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 19】 請求項 18 記載の塗布アセンブリ

(1) において、

前記 V 字形部分の両自由端が、それぞれ対応するスリットから離れる向きとされていることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 20】 請求項 18 記載の塗布アセンブリ

(1) において、

前記 V 字形部分の両自由端が、それぞれ対応するスリットの延在方向を向いていることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 21】 請求項 18~20 のいずれかに記載の塗布アセンブリ (1) において、

前記 V 字形部分の開口角度が、 $30^\circ \sim 180^\circ$ であることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 22】 請求項 18~20 のいずれかに記載の塗布アセンブリ (1) において、

前記 V 字形部分の開口角度が、 $30^\circ \sim 90^\circ$ であることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 23】 請求項 16 記載の塗布アセンブリ

(1) において、

前記各スリット (28a~28d) は、直線状に延在しており、

前記スリットの各端部が、開口 (29a) を有していることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 24】 請求項 23 記載の塗布アセンブリ

(1) において、

前記開口 (29a) が、約 1mm の直径とされていることを特徴とする塗布アセンブリ。

【請求項 25】 請求項 1~12 のいずれかに記載されたアプリケータ (2) の使用方法であって、

皺の処理に適した製品 (P) を、目の周辺領域 (Y) および口のコーナー部 (Z) に対して塗布するために使用することを特徴とするアプリケータの使用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば皮膚とい

たような表面に対して、とりわけ化粧品や皮膚薬品といったような製品を塗布するためのアプリケータに関するものである。また、本発明は、そのような製品を収容しかつそのようなタイプのアプリケータを備えた塗布アセンブリに関するものである。

【0002】 本発明が対象とするアセンブリは、把持部材として機能するストッパーが開口端のところに着脱可能に固定されるような製品収容のための貯蔵器を備えたタイプのものである。ストッパーには、通常はロッドを介して、塗布部材が一体的に設けられている。このため、塗布部材は、アセンブリの閉塞状態においては、製品に対して恒久的に浸漬されている。

【0003】 容器は、特に、皮膚薬品、メイクアップ製品、あるいは、体の特別な処理のための製品、特に、例えば液体ファンデーションや頬紅やアイシャドウといったような顔面の特別な処理のための製品、を収容することを意図している。とりわけ、アプリケータは、皺や小皺や疲労の兆候といったような、特に顔から首にかけてさらには肩にかけての皺や小皺や老化の兆候といったような、皮膚の老化の兆候を処理するための製品を塗布し得るよう構成される。

【0004】

【従来の技術】 従来より、皮膚の老化を隠したりあるいはばやかしたりするという目的で、多数の製品が提案されている。最近になって、本出願人は、仏国特許出願公開明細書第 2 758 083 号および仏国特許出願公開明細書第 2 759 084 号において、特に有効な「引締剤」をベースとした、老化や疲労の兆候を処理することを目的とした新規な製品を開示した。年を経るにつれて、皮膚は、不規則な微小凹凸をしいに有するようになり、皺や小皺を示すようになる。

【0005】 引締剤とは、皮膚を引き締めることができる化合物のことであり、この引締効果によって、皮膚を滑らかにして、皮膚の皺や小皺を即座に低減させたり消すことさえできる。このような製品は、特に質感のあるものであり、迅速に乾燥するという性質を有している。

【0006】 このタイプの製品を、指を使って直接的に塗布することは、不適切である。実際、ごく軽いマッサージにおいてさえも、指による摩擦によって、製品の質感は、十分に壊れ得るものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 よって、本発明によって提起される課題は、

— 過不足なくちょうど必要なだけの量の製品を塗布し得るような；

— 被処理面に対して適切な形状を有しているような；

— 目の周囲の領域における皮膚というような敏感なところに対しても適用できるよう、また、製品の質感が壊れやすいものであっても適用できるよう、フレキシブルでありかつ柔軟でありかつソフトであるような；

一製品が乾燥する前に、製品を迅速に広げ得るような、特に、単一ストロークでもって製品を迅速に広げ得るような；アプリータを提供することである。

【0008】顔面のうちの、本発明において特に対象としている領域は、例えば目の外側領域における「カラスの足跡」といったような目の周辺領域における皺、目の下側における黒ずみ、口のコーナー部の皺、などである。

【0009】仏国特許出願公開明細書第2 506 580号には、メイクアップ製品を塗布するための、スパチュラ（へら）の形態とされたフラットで柔軟なアプリータが開示されている。このアプリータは、非常に流動性の大きな製品を毛細管効果によって採取することを意図したものであって、本発明において対象とするような製品に対しては、使用することができない。さらに、アプリータの形状が、本発明において塗布対象としていような領域に対しての製品塗布に関して、全く適していない。

【0010】

【課題を解決するための手段】によって、本発明の目的は、皮膚の処理に適用し得るような、特に上記のような顔面領域に対しての処理に適用し得るような、アプリータを提供することである。

【0011】本発明のさらなる目的は、皮膚に対してできるだけソフトに塗布し得るとともに、非常に高精度な塗布を保証し得るような、アプリータを提供することである。

【0012】本発明の他の目的は、単一の皺を、あるいは、「一束の」皺を、選択的に処理し得るような、アプリータを提供することである。

【0013】本発明のさらに他の目的は、処理製品を収容しているとともにこのタイプのアプリータが設置されている貯蔵器を備えた塗布アセンブリを提供することである。

【0014】本発明による塗布アセンブリは、使用者のハンドバッグに入れて携帯することを意図している。すなわち、本発明による塗布アセンブリは、昼間に処理を行うために使用することができ、特に旅行時にも使用することができる。

【0015】によって、本発明の主題は、皮膚に対して製品を塗布するためのアプリータであって、把持部材と、この把持部材に対して一体に連結された塗布部材と、を具備してなり、塗布部材は、フレキシブルであるとともに、実質的に平面状の第1面を備え、この第1面の、把持部材の軸に対して垂直な方向における幅は、把持部材とは反対側に位置した自由端へと向かうにつれて狭くなるものとされ、第1面は、2つの側方エッジによって規定され、これら2つの側方エッジの少なくとも1つは、凹状の形態とされているような、アプリータである。よって、アプリータが製品に対して適用された

ときには、塗布面として、第1面を使用することができる。凹状の形態とされた側方エッジは、特に、目の下側領域の形状に適合した形状とされる。この目的のために、凹状側方エッジは、有利には、16mm～約30mmの曲率半径とされる。

【0016】本発明の観点においては、「フレキシブル」という用語は、応力を受けたときに、塗布部材が曲がることができ、さらに、応力が解除されたときには、弾性復元力によって初期状態に復帰し得ることを表すために使用される。このタイプの材料のたわみ（あるいは、曲げ）能力は、たわみ係数によって特徴づけられる。一般に、本発明が対象とする材料は、200MPa以上のたわみ係数（たわみにおけるヤング率）を有している。フレキシブルさは、塗布部材をなす材料の性質、および／または、塗布部材の形状に起因するものである。

【0017】特に好ましい実施形態においては、側方エッジの一方が、凹状の形態であって、側方エッジの他方が、凸状の形態である。この場合、両側方エッジは、互いに異なる曲率半径を有することができる。有利には、凸状側方エッジの曲率半径の方が、凹状側方エッジの曲率半径よりも大きい。これに代えて、両側方エッジを、凹状の形態とすることもできる。

【0018】よって、使用者は、右手で把持部材を保持して、例えば右目の下側領域といったような被処理領域に対して平面を適用することができる。この場合、塗布部材の凹状エッジが、目の下側のエッジに適合している。

【0019】同じく右手を使用してあるいは左手を使用して、左目の下側領域の処理を可能とするために、塗布部材の、第1面とは反対側に位置した第2面は、好ましくは、実質的に平面状とされる。

【0020】好ましくは、塗布部材の少なくとも1つの自由端は、丸まられた形態とされる。この場合、この自由端は、約1mm～約3mmの曲率半径とされる。

【0021】塗布部材に関しては、塗布部材は、天然ゴムまたは合成ゴムから、とりわけポリウレタンから、あるいは、熱可塑性エラストマーから、形成することができる。塗布部材は、閉塞セル（閉塞気泡）を有したまたは半閉塞セル（半閉塞気泡）を有したフォーム（発泡体）から形成することができる。また、塗布部材は、フロック状カバーを備えることができる（あるいは、産毛状カバーを備えることができる）。有利には、塗布部材は、約1～約3mmの範囲の平均厚さとされる。

【0022】塗布部材をこのような材料から形成しているおかげで、かつ、塗布部材をこのような厚さとしていおかげで、塗布部材は、皮膚に対して押し当てられたときに皮膚面を顕著に変形させることなく塗布部材の対応面の一部が皮膚面に対して接線方向から適用され得るような、フレキシブルさを有している。

【0023】好ましい実施形態においては、塗布部材は、把持部材の軸に沿って測ったときに、約20mmの長さとなされる。有利には、把持部材と塗布部材とは、小径のロッドを介して連結されている。これにより、塗布部材の取扱いが容易となされる。

【0024】有利には、塗布部材は、把持部材の軸に対して垂直な方向に測ったときに、約7mmの平均幅とされている。この幅は、対象をなす皺領域の皺の実質部分をカバーするのに適している。

【0025】実用的には、塗布部材は、例えば皺処理用製品といったような製品を収容することを意図した貯蔵器と組み合わせられる。これにより、塗布アセンブリが形成される。この貯蔵器は、開口を規定する自由エッジを備えており、この自由エッジに対して、閉塞部材が着脱可能に固定される。有利には、この閉塞部材は、全体的に円筒形のストッパーを備えている。このストッパーは、上記のような塗布部材が一体的に連結される把持部材を形成する。

【0026】製品の正確な軽量を保証し得るよう、また、塗布部材上における製品の様な分布を保証し得るよう、有利には、乾燥部材が、貯蔵器の開口の近傍に配置される。この乾燥部材は、塗布部材によって採取される製品の量を計量することができるものである。好ましくは、乾燥部材は、弾性材料から形成されているとともに、乾燥部材を厚さ方向に貫通して延在する少なくとも1つのスリットを有している。アセンブリの貯蔵状態（保管状態）においては、塗布部材を携行しているロッドは、スリットを挿通している。

【0027】ある実施形態においては、乾燥部材は、乾燥部材の中心近傍において互いに交差する複数のスリットを有することができる。本発明の有利な見地においては、スリットの各端部からは、そのスリットの延在方向とは異なる方向を向いて形成された少なくとも1つの部分が延出される。とりわけ、各端部には、それぞれ対応するスリットの延在方向を中心軸としかつ頂点をそれぞれ対応するスリットに位置させた「V」字形部分が形成される。「V」字形部分の両自由端は、それぞれ対応するスリットから離れる向きとすることができる、あるいは、これに代えて、「V」字形部分の両自由端は、それぞれ対応するスリットの延在方向を向く向きとすることができる。「V」字形スリット部分の開口角度は、 $30^{\circ} \sim 180^{\circ}$ とすることができ、好ましくは、 $30^{\circ} \sim 90^{\circ}$ とすることができる。

【0028】これに代えて、スリットの各端部を、開口とすることができる。この開口は、有利には、円形の形態となされる。典型的には、この開口の直径は、約1mmの程度となされる。

【0029】上記アプリーケータは、特に、上記タイプの引締剤を含有した製品に基づいて、特に目の周辺領域および口のコーナー部における、皺および小皺を処理する

ことができる製品を塗布するために使用することができる。

【0030】

【発明の実施の形態】本発明のさらなる目的は、添付図面を参照しつつ、単に例示のためのものであって本発明を何ら制限するものではない実施形態に関しての以下の説明を読むことにより、詳細に明瞭となるであろう。

【0031】図1は、本発明による塗布アセンブリを示す軸方向断面図である。図2は、図1のアセンブリにおけるアプリーケータを拡大して示す図である。図3(a)は、第1実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図である。図3(b)は、図3(a)の乾燥部材を示す側面図である。図4(a)は、第2実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図である。図4(b)は、図4(a)の乾燥部材を示す側面図である。図5は、第3実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図である。図6は、本発明によるアプリーケータを使用した時の、顔面に対しての皺処理製品の適用を示す図である。

【0032】図1および図2に示すように、塗布アセンブリ1は、軸Xを有するものであって、製品Pを適用するためのものである。塗布アセンブリ1には、アプリーケータ2が設けられている。アプリーケータ2は、ストッパー4を備えている。ストッパー4は、把持部材として機能するものであるとともに、円筒状の形態とされたボトル20のネック21上に、ネジ止めによって固定され得るものである。ボトル20は、液体からペーストにかけてのさらにはゲルのような粘度の製品Pを収容するための貯蔵器を形成している。ネック21は、外向きネジ山23を有している。この外向きネジ山23は、ストッパー4の下部に形成された対応ネジ山5に対して協働し得るものである。ストッパー4は、把持が容易であるよう、全体的に長尺円筒の形態とされている。ストッパー4には、ストッパー4の下側から下方へと突出する中央ロッド6が設けられている。このロッド6は、下端6aを有しており、この下端6aには、例えば接着によりまたは相互嵌合によりまたは熱融着により、塗布部材8が固定されている。

【0033】塗布部材8は、ロッド6に接している側の第1端部8aと、第2端部8bという、2つの端部を有している。これら2つの端部は、丸められた形態とされていて、第1端部8aの曲率半径 R_1 は、第2端部8bの曲率半径 R_2 よりも大きなものとされている。図示の例においては、 R_1 は、約4mmであり、 R_2 は、約1mmである。軸Xに沿って測った際の、両端部8a、8b間の距離は、約20mmである。

【0034】2つの端部8a、8bの間には、2つのエッジ9a、9bが存在している。エッジ9aは、凹状であって、曲率半径 R_3 とされている。エッジ9bは、凸状であって、曲率半径 R_4 とされている。図示実施形態においては、 R_4 の方が R_3 よりも大きい。これによ

り、自由端8bに向かう方向における両側方エッジ9a、9bの収束性を良好なものとすることができる。

【0035】 R_1 は、目の下側の湾曲に適合している。典型的には、 R_1 は、20mmの程度である。 R_2 は、16mmの程度である。ロッドの軸Xに対して垂直な方向に測ったときの、両側方エッジ9a、9bの間の平均間隔1は、7mmの程度である。最も幅が広い部分においては、塗布部材8の幅は、約8mmとされている。

【0036】塗布部材8は、共に実質的に平面状とされかつ互いに平行とされた2つの主面10、12を有している。これら2つの主面間の間隔は、塗布部材8の厚さを規定している。この厚さは、塗布部材8を形成するために使用されている材料のフレキシブルさに依存して、選択されている。一般に、この厚さは、約1mm～約3mmとされている。

【0037】塗布部材8を形成している材料は、特にたわみおよび曲げに関して、弾性変形可能な材料である。このような材料は、天然ゴムまたは合成ゴムとすることができ、好ましくは、熱可塑性エラストマーとすることができ、有利には、閉塞セル（閉塞気泡）を有したまたは半閉塞セル（半閉塞気泡）を有したフォーム（発泡体）が選択される。付加的に、塗布部材8の表面を、フロク加工することができる（あるいは、産毛状表面を有するように加工することができる）。これにより、製品Pの保持容量が増大され、塗布部材の操作性が向上する。

【0038】ボトルのネック21は、開口24を形成する環状自由エッジ22を有している。弾性変形可能な材料から形成された乾燥部材26（図1）が、この開口内に取り付けられている。乾燥部材は、薄いメンブランの形態とされ、ボトルのネックの自由エッジ22上に適合する円形周縁エッジ27を有している。乾燥部材の中央部25は、底部が貯蔵器20の方を向いた皿のような形状とされている。乾燥部材は、1つのスリット28（図3（a）および図3（b））または複数のスリット28a～28d（図4（a）および図4（b））を有している。複数のスリットが存在する場合には、これらスリットは、中心点Cにおいて交差する。貯蔵状態においては、ロッド6は、このスリットをまたはこれらスリットを、挿通する。

【0039】図3（a）および図3（b）においては、乾燥部材の第1実施形態26aには、単一の直線状スリット28が形成されている。スリット28の終端部29からは、2つの枝30a、30bが延出されている。2つの枝30a、30bは、「V」字形に配置されていて、約60°という挟角 α を形成している。

【0040】図4（a）および図4（b）には、乾燥部材の第2実施形態26bが示されている。この場合には、底部25には、メンブランの中心Cにおいて互いに

交差する4本のスリット28a～28dが形成されている。図3（a）におけるスリットの実施形態と同様に、図4（a）および図4（b）に示すスリット28a～28dは、V字形配置された2つの枝30a、30bが延出する端部29を有している。

【0041】スリットがV字形分岐端部を有していることにより、塗布部材8をボトル20から取り出す際の、また、塗布部材8をボトル20内へと差し込む際の、スリット28、28a～28dのエッジのソフトな開口が可能とされている。さらに、スリットのエッジ（スリットを形成している側縁部）は、塗布部材を取り出す時に、過剰の製品Pを除去することによって、塗布部材上にわたって製品Pを適切に押し広げることが保証し、塗布面10上にわたって製品Pが一様に分布することを保証する。

【0042】図5は、乾燥部材の第3実施形態26cが示されている。この場合には、底部25には、図4（a）におけるスリットの実施形態と同様に、メンブランの中心Cにおいて互いに交差する4本のスリット28a～28dが形成されている。図5に示す各スリット28a～28dは、開口29aによって形成された2つの端部を有している。典型的には、各開口29aは、円形とされていて、約1mmの直径を有している。

【0043】図6は、本発明によるアプリケーション2を使用した時の、目の周辺領域における皺寄り部分Yに対しての、また、口の周辺領域の皺寄り部分Zに対しての、皺処理製品の適用を示している。塗布部材8の自由端8bをただ軽く当接させるだけで、製品Pを単一の皺上にわたって広げることができ、皺のエッジに過剰の製品を塗布しすぎることなく、対象をなす皺上にわたって製品を一樣にかつ正確にならすことが保証される。製品は、製品の質感に基づく不利益を起こすことなく、優しく塗布される。この塗布モードにおいては、使用者は、ロッド6と皮膚表面との間の角度が約30°～60°をなすように、アプリケーションを保持する。

【0044】例えば口の下の皺領域といったような、もっと皺寄った領域を処理するためには、塗布部材8には、先程の場合よりもずっと大きな押圧力が適用される。このことは、塗布部材のたわみを引き起こす。これにより、塗布部材の、より多くの表面が、特に、より幅の広い表面が、皮膚に対して接触するようになる。この場合、塗布部材の表面10は、皮膚に対して接線方向から接触する。塗布部材によって被処理領域をなぞることにより、製品は、ちょうど皺の深さ内へと塗布される。この場合、製品内に含有されている引締剤の作用によって、乾燥後には、皺がぼやけたり、さらには、消えたりすることとなる。

【0045】塗布部材の形態は、目の下のリング状部分の処理に特に好適である。製品を、単一動作でもって押し広げることができる。よって、塗布部材の第1面を使

用して、右手で右目の下のリング状部分に対して製品を塗布し、塗布部材の他の面を使用して、左手で左目の下のリング状部分に対して製品を塗布することができる。

【0046】上記の詳細な説明においては、本発明の特別の実施形態を参照した。請求範囲に規定されている本発明の精神を逸脱することなく、上記実施形態に変更を加え得ることは、自明である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による塗布アセンブリを示す軸方向断面図である。

【図2】 図1のアセンブリにおけるアプリータを拡大して示す図である。

【図3】 (a)は、第1実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図であって、(b)は、その側面図である。

【図4】 (a)は、第2実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図であって、(b)は、その側面図である。

【図5】 第3実施形態における乾燥部材を拡大して示す平面図である。

【図6】 本発明によるアプリータを使用した時の、顔面に対しての被処理製品の適用を示す図である。

【符号の説明】

- 1 塗布アセンブリ
- 2 アプリータ
- 4 把持部材

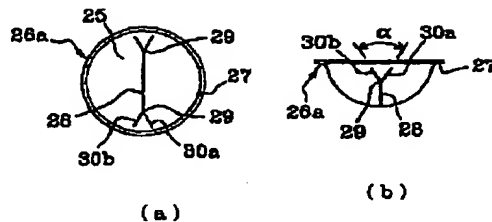
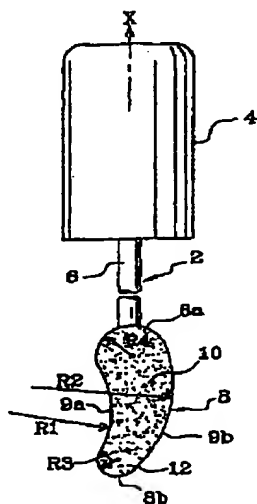
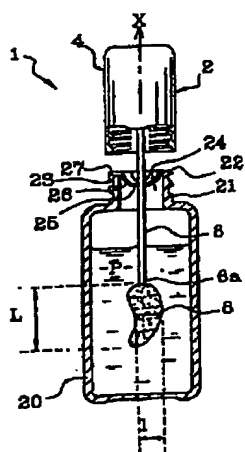
- * 8 塗布部材
- 8 b 自由端
- 9 a 側方エッジ
- 9 b 側方エッジ
- 10 第1面
- 12 第2面
- 20 貯蔵器、ボトル
- 22 自由エッジ
- 24 開口
- 26 乾燥部材
- 26 a 乾燥部材
- 26 b 乾燥部材
- 26 c 乾燥部材
- 28 スリット
- 28 a スリット
- 28 b スリット
- 28 c スリット
- 28 d スリット
- 29 端部
- 29 a 開口
- 30 a 枝
- 30 b 枝
- C 中心
- P 製品
- X 軸

*

【図1】

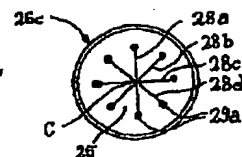
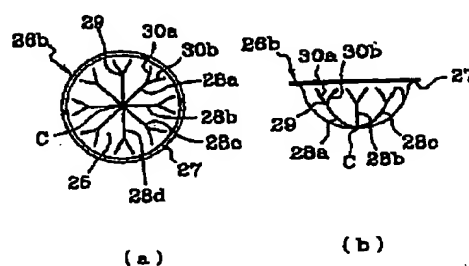
【図2】

【図3】

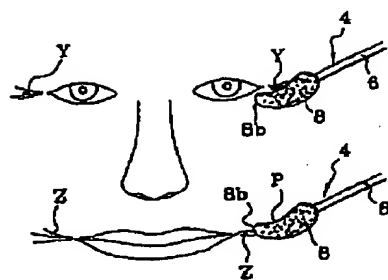


【図4】

【図5】



【図6】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.